

在宅医療・介護連携推進事業の令和3年度の取組み予定（案）

令和3年2月現在

令和3年度～令和5年度の取組み	国が示す項目	令和3年度の予定
<p>・市民への医療・介護情報提供および医療・介護関係者の相互理解、連携強化の取組みは引き続き継続する（平成30年度から令和2年度の3年間だけで完了するものではなく、地道に取り組む必要がある）</p>	<p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援 (カ) 医療・介護関係者の研修 (キ) 地域住民への普及啓発</p>	<p>・ICTの利用促進・拡充を図る ⇒医療介護事業者向けに利用実態等のアンケート調査を実施する ⇒ICTミーティングや広報物等を用いた周知活動により、ICTについての理解促進、利用者数と事業所数の拡充を図る</p> <p>・地域ケア会議や多職種連携研修会等の継続実施 ＜多職種連携研修会＞ ※オンライン予定 ⇒「意思決定支援」を共通のテーマとした研修を予定</p> <p>第1回 内容：本人の意思に沿った医療・介護の意思決定支援を考える 第2回 内容：認知症高齢者のかたの意思決定の支援 認知症のコミュニケーションの取りかた 第3回 内容：在宅で看取りを希望されるかたへの意思決定支援の実践</p> <p>＜地域ケア会議＞ ⇒助言担当医・助言担当歯科医・助言担当薬剤師を交えた地域ケア会議を開催し、医療と介護の連携強化を図る</p> <p>・在宅医療・介護情報の一覧（「最期まで自分らしく東村山で暮らし続ける」）の更新 ⇒活用状況や今後の活用についての意見を利用者から意見聴取し、内容の更新に繋げる</p>
<p>・「最期まで自分らしく東村山で暮らし続ける」を医療・介護連携の目指すキーワードとし、そのキーワードに向かうための検討、取組みを実施していく</p>	<p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援 (カ) 医療・介護関係者の研修 (キ) 地域住民への普及啓発</p>	<p>・看取りに関する認知度の把握を行う ⇒事業実施前の段階で、医療介護関係者を対象とした「看取り」に関する認知度・ニーズ調査を行う</p> <p>・把握した実態に基づき、看取りに関する講演会、研修会の企画及び実施 ⇒認知度・ニーズ調査の結果を分析し、講演会や研修会等を企画・実施する 内容：療養生活における選択肢・看取りについて</p> <p>・かかりつけ医の充実強化を図る ⇒令和2年度に実施した市内医療機関向けのニーズ等の調査結果を分析し、支援内容について検討・実施する ⇒医師会より、訪問診療を行う医療機関を増やす働きかけを今年度も引き続き行う</p>

※ 令和3年度の取組み予定の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ変更が生じる可能性があります。

認知症総合支援事業の令和3年度の取り組み予定（案）

【資料2】
令和3年2月15日（月）
第5回東村山市地域包括ケア推進協議会

令和3年2月現在

令和3年度～令和5年度の取り組み	令和3年度の予定
<p>1、認知症になっても、本人やそのご家族が安心して過ごすことのできる地域、居場所づくりに向け、地域で活躍する地域の担い手として活躍できる認知症サポーターの育成に力を入れた取り組み及び認知症サポーターの活躍の場の充実</p> <p>（1）地域、居場所づくりの推進</p> <p>①認知症サポーターを活動に繋げるための仕組みづくりの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターを認知症のかたが参加しているサロン活動や認知症カフェ、認知症サポーター養成講座のボランティア等の地域の活動参加につなげ、地域において、認知症のかたやそのご家族のかた等を支える担い手として活躍できる仕組みづくりの検討を行う <p>②住民主体の活動団体に対する認知症の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターと連携し、市内の住民の通いの場や自治会等の住民主体の活動団体に対して、認知症の理解の促進を図り、参加者が認知症になっても安心して参加継続できる土壌づくりを進める <p>③民間事業者への認知症に関する理解の促進・地域づくりへの協力依頼の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護事業者や地域で住民との関わりが多い民間事業者 <p>（2）認知症に関する普及啓発の継続</p> <p>①認知症普及啓発講演会や広報誌等による普及啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症があってもなくても同じ社会で共に生きるという共生の考え方の周知 市民が認知症を自分事として考える機会の提供 認知症の基本的な内容や相談窓口についての理解促進 <p>②認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座継続の実施と内容検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症に関する基本的な内容や相談窓口の周知 認知症施策検討会議（関係者）や認知症ワーキングチーム（市民参加）で、共生の考え方、認知症を自分事として捉え考える機会となるよう、内容を検討 	<p>（1）地域、居場所づくりの推進</p> <p>①認知症サポーターを活動に繋げるための仕組みづくりの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域包括支援センターで管理している認知症サポーター名簿を集約し、効果的な仕組みづくりに活用 東村山市のチームオレンジの具体的な展開方法の検討 <p>②住民主体の活動団体に対する認知症の理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> サロン等住民主体の活動団体に対し、認知症の相談支援等を通じた関係づくりを行うとともに、認知症予防と社会参加について普及啓発を実施 <p>③民間事業者への認知症に関する理解の促進・地域づくりへの協力依頼の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 行方不明高齢者等検索メールの受信登録の協力依頼 対象団体：居宅介護支援事業者、通所事業者、訪問介護事業者、小規模多機能型事業者、福祉用具販売・レンタル事業者、見守り協定の事業者等 民間事業者（希望者）への認知症サポーター養成講座 <p>（2）認知症に関する普及啓発の継続</p> <p>①認知症普及啓発講演会や広報誌等による普及啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症普及啓発講演会について、オンラインを含めた開催の検討・実施及び市報・広報誌等による周知の継続 認知症ケアパスの内容の充実に向けた研究・検討の継続 コロナ禍における学生への普及啓発の方法の検討 <p>②認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座継続実施と内容検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 共生と予防の考え方を盛り込んだ認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座の検討・実施 認知症サポーター養成講座及びステップアップ講座を各圏域で1回/年ずつ実施 認知症施策検討会議 1回/月開催 認知症ワーキングチーム 適宜開催
<p>2、認知症に関する相談体制の強化と認知症のかたや家族が相談に繋がりがやすい体制の更なる連携強化</p> <p>（1）多様化する認知症の相談対応のための相談体制の強化</p> <p>①認知症支援コーディネーター、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター、在宅療養支援窓口、地域包括支援センター及び助言担当医などの関係機関間における連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の考え方や状況に応じて、相談窓口や医療機関を選択できるように、各々の機関の対応内容や相談ルートがわかりやすくなるよう情報を整理し、周知 <p>②地域包括支援センターの相談対応力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談対応力向上のための定期的な研修の実施（認知症関連・権利擁護・意思決定支援等） 	<p>（1）多様化する認知症の相談対応のための相談体制の強化</p> <p>①認知症支援コーディネーター、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター、在宅療養支援窓口、地域包括支援センター及び助言担当医などの関係機関間における連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患医療センターと連携し、各種研修や講演会、地域の認知症の相談や家族支援の継続実施 認知症に関する各機関の対応可能な内容や相談方法、市の認知症施策等について、引き続き居宅介護支援事業者などの関係機関へ周知を行う <p>②地域包括支援センターの相談対応力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援を共通のテーマとした多職種連携研修会への参加 認知症や権利擁護などの研修情報を地域包括支援センターへ提供し、参加を促す

※ 令和3年度の取り組み予定の内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ変更が生じる可能性があります。